


## 新館見せます!!



7F 5F	5F~7Fは職員とその家族が住んでいます。 (地震の時などに手伝いにあたるので、職員待機宿舎といわれています)
4F	4Fは、防火防災教室と体育訓練室があります。教室の方ではAEDの講習などが行われています。体育訓練室には、様々なトレーニング機械や卓球台がありました。 
3F	3Fには、職員の方々が食事をするところがあります。自炊だとか。
2F	2Fには、総務課、予防課、警防課などがあります。総務課は事務の全般に携わる課。予防課は建物を建てる際に、その建物の安全性などの検査や法律に違反して使っていないかなどを検査する課。警防課は災害活動や救急活動などを担当している課。この3つの課で構成されています。
1F	1Fは主に車庫です。目黒消防署には、ポンプ車をはじめとする多くの車があります。はしご車は、40mも伸びるものを備えています。    この消火器はどこに付けられていると思いますか？実はこれ、消防署の車に付けられているものなんです。火を消す車に消火器とは少し不思議ですね。
B1	B1Fには免震装置(アイソレーター)があります。これは建物を支えて守ってくれる上に、地震の揺れを軽減してくれるものです。現在16基設置されています。

## QUIZ

Qこの写真に写っているホースはなんでしょう？



ヒント：これは1Fの車庫の天井にあります。

▲ 答えは排気ガスを吸引するホースです。車の点検などを密閉した中で発生したガスを吸い、より行動しやすくしてくれます。

## 新しくなった目黒の消防署★



平成20年9月3日に目黒消防署は新庁舎となりました。今回の庁舎は三代目。初代は昭和8年、今の場所に設立し、約33年間、そして二代目は昭和40年に落成し、約40年の間建て替えました。  
今回新しくなったばかりの目黒消防署を取材し、いろいろなお話を聞かせてもらいました。



▲初代(昭和39年頃)



▲2代目(平成17年頃)

## 職員の方に聞きました!

- Q1 新庁舎のご感想は？  
A1 すごく広くなり、きれいになって嬉しいです。けどもう書類などが…
- Q2 目黒消防署では何人働いているんですか？  
A2 今268名です。1日に勤務している人数は120名ほどです。
- Q3 救急車の出勤が多いと伺ったのですが、遠くの救急車が来るのですか？  
A3 今は、救急車にGPSをつけているので、現場に近い救急車を向かわせています。
- Q4 住宅用火災警報器が義務化されますが、私たちがどこで購入できるのですか？  
A4 電気屋さんなどでOKです。皆さんでも取り付けられます。
- Q5 今、地震が起つたり、一番に何をすれば良いですか？  
A5 早く火を消せといいますが、その前に自分を守って下さい。その後には火の始末や消火です。ケガしないよう家具の転倒防止が必要です。



写真左、今回取材に応じて下さった小倉さん。右は女性消防官の天野さんです。

# NEW HERO